

I. エペソ人への手紙の各章は特別な観点から、三一の神の有機体であるキリストのからだの奥義を明らかにしています。私たちは、知恵と啓示の霊を求めて祈らなければなりません。それは私たちが、キリストのからだに聖書の最高の啓示であることを見るためです。
エペソ1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。

5:29 自分の肉体を憎んだ者はかつてなく、むしろ、キリストが召会に対してなされるように、それを養いはぐくむのです。30 なぜなら、私たちはキリストのからだの肢体だからです。

II. エペソ第1章が啓示しているのは、キリストのからだに、手順を経た三一の分与と超越したキリストの伝達との結果であるということです：

A. 御父が選ぶこととあらかじめ定めることの中での御父の分与は、彼の多くの子たちを生み出し、聖別の中で彼の家とさせます。エペソ 1:4 すなわち、この方は、愛の中で、御前に聖く傷のない者になるようにと、世の基が置かれる前から、キリストの中でわたしたちを選び、

B. 御子が贖うことと救うことの中での御子の分与は、信者たちを生み出し、造り変えの中で神の嗣業となさせます。

C. その霊が証印を押すことと担保を入れることの中でのその霊の分与は、神が信者たちの嗣業となることを担保し、彼らを成就へともたらします。

D. 超越したキリストが復活することと昇天することの中での伝達は、彼の表現である彼のからだを生み出し、信者たちを究極的完成へともたらします。エペソ 1:19 また神の力強い大能の活動にしたがって、信じる私たちに働く彼の力が、どんなに超越して偉大であるかを知るように。20 神は、その力強い大能をキリストの内に働かせて、彼を死人の中から復活させ、彼を天上でご自身の右に座らせ、

III. エペソ第2章が啓示しているのは、キリストのからだに新しい人であり、三一の神の傑作であるということです。エペソ 2:15 数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり、16 また十字架を通して、両者をつからだの中で神に和解させるためでした。それによって敵意を殺してしまったのです。

A. 一人の新しい人としてキリストのからだは、キリストご自身の中で彼の死と復活を通して創造された神の傑作、神の詩であり、神の無限の知恵と神聖な設計を表現します。

エペソ 2:10 なぜなら、わたしたちは神の傑作であり、良い働きのために、キリスト・イエスの中で創造されたからです。神は、わたしたちがその良い働きの中を歩くようにと、あらかじめ備えてくださったのです。

B. キリストは十字架上で、数々の規定から成っている戒めの律法、すなわち、人類を分裂させる生活や礼拝の形式や方法すべてを、彼の肉体の中で廃棄することによって、彼ご自身の中で、新しい人を創造しました。

C. この世の人は、文化的な違いが名声の源であると考えます。しかし、一人の新しい人であるキリストのからだの中で、私たちはこの名声を失いました。今や、私たちの唯一の名声は、キリストと真の一です。

D. 一人の新しい人の中には、ただひとりのパースン、すなわち、すべてを含むキリストがおられるだけです。この一人の新しい人は、一つの口を持っており、一つ思いで同じ事を語ります。

IV. エペソ第3章が啓示しているのは、キリストのからだに三一の神の豊満であり、それは、私たちがキリストの豊満を供給されることによってであり、またキリストが私たちの心の中にご自身のホームを造ることによってであるということです：

エペソ 3:16 どうか御父が、彼の栄光の豊満にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいように。17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、

A. 神は一つのエコノミーを持っており、キリストの計り知れない豊満を私たちの存在の中へと分配して、私たちが彼の豊満、彼の表現となさせます。

エペソ 3:19 そして、知識を超越したキリストの愛を知ることができるように。また、あなたがたが満たされて、神の全豊満へと至るように。

B. パウロが源である御父へと祈ったことは、御父が手段としてのその霊を通して、私たちが内なる人の中へと増強してくださり、御子キリストが動き、働いて、私たちの心の中にご自身のホームを造り、その結果、私たちがキリストのからだとなり、三一の神の豊満となるということです。

C. 毎日私たちは祈って、私たちの内なる人の中へと増強される必要があります。それは、三一の神が彼の唯一の働きを完成して、彼ご自身をキリストの中で私たちの心の中へと建造し込み、彼が私たちの内在的な構成となり、神と人との相互の住まいとならせるためです。

<p>V. エペソ第4章が啓示しているのは、キリストのからだは、手順を経た三一の神と再生された信者たちとのミングリングであるということと、この一つからだ一つ一つの務めによって建造されるということです： <u>エペソ 4:12</u> それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり、</p>	<p>A. 一つ霊、一つ主、一つ神また父は、信者たちとミングリングされて、一つの実体となっており、キリストの有機的なからだとなります。<u>エペソ 4:4</u> 一つからだ一つ霊、それはあなたがたも、あなたがたの召しの一つ望みの中で召されたようにです。 <u>5</u> 一つ主、一つ信仰、一つバプテスマ。 <u>6</u> すべてのものの神また父は一つ、この方はすべての上に、すべてを貫き、すべての中におられるのです。</p> <p>B. キリストのからだの一は、その霊の一であり、その霊の一は、私たちの霊の中におられるその霊ご自身です。私たちは一を保つために、私たちのミングリングされた霊の中にとどまらなければなりません。</p> <p>C. キリストのからだは、一つ一つの務めによって建造されます。この一つ一つの務めは、私たちを成就して、すべての事で、かしらであるキリストの中へと成長し込ませ、また彼から出て来る機能を持たせ、からだに供給して、からだは愛の中でそれ自身を建て上げるに至るようにします。 <u>エペソ 4:16</u> この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。</p>
<p>VI. エペソ第5章が啓示しているのは、キリストのからだは光の子供たちから成っており、キリストの花嫁となり、キリストを満足させるということです：</p>	<p>A. 私たちはかつては暗かっただけでなく、暗やみそのものでした。なぜなら、私たちはサタンと一であったからです。今や、私たちは光の子供たちであるだけでなく、光そのものです。なぜなら、私たちは主の中で神と一であるからです。 <u>エペソ 5:8</u> なぜなら、あなたがたはかつては暗やみでしたが、今は主の中で光であるからです。光の子供たちとして歩きなさい。 <u>9</u> (光の実は、すべての善と義と真実の中にあるからです)。</p> <p>B. 燭台が表徴しているのは、三一の神の複製としての召会が、生きた金の木であり、復活の命をもって開花して、輝く光、すなわち、光の実となって、三一の神を満ち満ちた方法で表現するということです。</p> <p>C. 私たちは光の子供たちとして、愛と光の中を歩き、用意を整えて、キリストの栄光の花嫁となります。それは、命を与える霊が私たちを聖化し、言葉の中の水の洗いによって私たちを清めることによってです。 <u>エペソ 5:25</u> 夫たちよ、キリストが召会を愛して、彼女のためにご自身を捨てられたように、あなたがたの妻を愛しなさい。 <u>26</u> それはキリストが召会を聖化し、言葉の中の水の洗いによって召会を清めるためであり、</p>
<p>VII. エペソ第6章が啓示しているのは、キリストのからだは三一の神の団体の戦士であり、神の敵を打ち破るということです：</p>	<p>A. 霊的戦いは、個人的な事柄ではなく、からだの事柄です。からだとしての召会は、団体の戦士です。団体の戦士だけが、神のすべての武具を身に着けることができます。<u>エペソ 6:10</u> 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。 <u>11</u> 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。 <u>12</u> というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。 <u>13</u> こういうわけで、神のすべての武具を取りなさい。それは、あなたがたが邪悪な日であって抵抗することができ、またすべてのことをやり抜いた後も、なお立つことができるためです。 <u>14</u> ですから立ちなさい。真理を腰に帯として締め、義の胸当てを身に着け、 <u>15</u> また平和の福音を確固とした土台として足にはきなさい。 <u>16</u> なおその上に、信仰の盾を取りなさい。それによって、あなたがたはあの邪悪な者の燃える火の投げやりを、いっさい消すことができます。 <u>17</u> また救いのかぶとを受け取りなさい。さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、 <u>18</u> すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。 <u>19</u> また、私のためにも祈ってください。それは、私が口を開く時、言が私に与えられ、福音の奥義を大胆に告げ知らせることができるためです。</p> <p>B. すべての戦いは、サタンの意志と神のみこころ(意志)との間の衝突をその源とします。私たちは苦難を通して、自分の意志がキリストによって征服され造り変えられるようにしなければなりません。それによって私たちの意志は、キリストの頭首権へと服従させられて、神のみこころ(意志)を選択し、復活の中でキリストの防衛する力を豊かに持つようになります。</p> <p>C. 祈りは、唯一の、極めて重要な、不可欠な手段であり、それによって私たちは神のすべての武具を適用し、神の武具のあらゆるものを使用できるようにします。</p> <p>D. 私たちが霊的な戦いを戦うのは、主(子なる神)の中で力づけられ、父なる神のすべての武具を身に着け、その霊の剣を用いることによってです。これは、霊的な戦いの中でさえ、私たちが三一の神を経験し、享受するということです。</p>

経験:

①聖なる御言の中の最高の啓示は何でしょうか？私たちは聖書には六十六巻あり、またそれらが少なくとも1600年の期間にわたって書かれたことを知っています。これらの六十六巻の書物は、過去の永遠から未来の永遠に至る多くの事柄を取り扱っています。それらは創造、救い、そして他の多くの事柄を取り扱っています。聖書の研究者たちや、聖書の教師たちは、聖書の中から多くの主題を拾い上げてきましたが、私たちはみな、からだこそが「その」最高の点であることを見なければなりません。聖書の中の何干という言葉すべての中で、からだは私たちにとって際立っているべきです。聖書の中で最大の言葉はからだです。聖書の中で最も見失われた、無視された、そして喪失されている点は、召会がキリストのからだであるということです。…キリストは彼の個人的な体のほかに、奥義的なからだを持っておられます。

結婚生活編: 人が結婚して子供が生まれると、妻は育児や子供の教育、家事で忙しくなります。また、夫は家庭を経済的に支えるため、ビジネスで忙しくなります。しかし、ファミリー・ライフの核は夫婦の結婚生活です。なぜなら夫と妻はキリストと召会を表しているからです。言い換えると、正常な結婚生活が基礎となり、その上に育児、家事、ビジネス・ライフ、召会生活などを建て上げます。結婚生活が正常でなければ、長期的に安定した祝福のある育児、ビジネス・ライフ、召会生活を持つことはできません。こういうわけで聖書は、「ですから監督は、非難されることがなく、一人の妻の夫であり、節度を守り、冷静な思いを持ち、規律正しく、客をよくもてなし、よく教え(1テモテ 3:2)」と言って、召会の責任者にとって正常な結婚生活が重要であることを示しています。この原則はすべての兄弟姉妹に適用されます。

神のエコノミーのゴールと核心はキリストのからだの建造です。からだがないとゴールと核心がありません。同様に、キリストのからだの建造のビジョンを持って、正常な結婚生活を建て上げることが、あなたの人生の核心です。結婚生活ほどあなたの隠れた罪、欠点、特異性を暴露し、対処するものではありません。言い換えると、結婚生活に問題があるということは、あなたに隠れた罪があるということを暗示しています。あなたの人生には様々な多くのことがあります、現実的な生活の中の核心は、正常な結婚生活を建て上げることです。また、あなたは結婚生活を自分の小王国にしてはいけません。必ず、からだの生活の中であなたを導いている兄弟姉妹に開き、彼らのアドバイスを受け入れる必要があります。神はあなたの正常な結婚生活を基礎に、あなたのファミリー・ライフ、ビジネス・ライフを大いに祝福することができます。アーメン!

②分与する働きは、私たちを神の傑作としました。…エペソ人への手紙第2章10節の「傑作」のギリシャ語は、「ポイエマ(poiema)」であり、「詩」と訳すこともできます。詩は、作者の知恵と設計を示しています。神の働きの傑作である私たち召会は、詩でもあり、神の無限の知恵と神聖な設計を表現しています。…私たちは、キリストが私たちの中におられることと、私たちがキリストの中にいるという神聖な事実を見なければなりません。キリストの中で、私たちは生かされ、死人の中から復活させられ、天上で座らせられました。今や私たちは神の傑作です。なぜなら、神がご自身の存在そのものを私たちの存在の中に分与してくださったからです。宇宙の何よりも尊くすばらしい方が私たちの内側におられるのです。私たちは内側に神を持っています。これは私たちをすばらしい者とします。またこれは私たちを神の傑作とします。

ビジネス・ライフ編: 会社において、優れた上司は社員の育成プランを持って部下を監督します。ですからビジネス・パーソンにとって、優れた上司を持つかどうかは極めて重要です。神に感謝します。神は宇宙で最も優れた経営者であり、信者であるあなたを成就する最高の上司です。神は召会を宇宙における最高傑作にしようと働いています。そしてあなたはキリストのからだの一部分ですので、神はあなたを傑作の一部分として、造り変えなければなりません。あなたは、ビジネスの実践的な状況で、宇宙で最高の上司である神に開き、自分自身をゆだねるべきです。ハレルヤ!

③私たちは主の中で光であるので、光の子供たちとして歩くべきです。…光の子供たちは、賢くない者のようにではなく、賢い者のように歩いて、時を贖い取るべきです。なぜなら、今の日々は邪悪であるからです。時を贖い取るとは、キリストによって召会の中で生活し、召会生活の中でキリストを生きることです。もし私たちが召会生活をしなければ、私たちは自分の時間を無駄にするでしょう。

スクール・ライフ(大学生)編: 日本の多くの大学生は、欧米先進国の大学生に比べて、目標なしに学生生活を過ごしています。大学入学時の日本の学生は比較的競争力がありますが、卒業時の競争力は非常に低下しています。あなたは日本の大学を卒業し、日本の企業で働くので、グローバルな競争とは関係ないと考えてはいけません。今の時代はグローバルな時代であり、あなたはいつもグローバルな競争にさらされていることを理解する必要があります。学生の間に時を贖って、勤勉に学び、同時に召会生活の奉仕の中に入ってください。あなたがグローバルに競争力のある人材になるために、大学の専門において勤勉に学ぶと同時に、必ず召会の奉仕においても勤勉に学んでください。あなたが就職した後、召会生活の奉仕における学びが、あなたにとってすばらしい成就であることを実感するでしょう。主に感謝します。

④彼が私たちを聖別するのは、私たちの中へと入って聖別する命また聖なる性質となり、言葉の中の水の洗いによって毎日さらには毎瞬、私たちに浸透し、私たちを清めることにより、御言の中には、すなわち聖書の中には、水があります。私たちはこの事を自分の経験によって知っています。私たちがこの水の中に入り込むとき、それは私たちを洗います。毎朝、私たちは聖書の中で洗う必要があります。

エペソ 5:26 それはキリストが召会を聖化し、言葉の中の水の洗いによって召会を清めるためであり、27 またそれは、しみやしわや、そのようなものが何もなく、聖くて傷のない栄光の召会を、彼がご自身にささげるためです。

スクール・ライフ(中高生)編: 中高生であるあなたは、若い時から聖なる言葉に親しんでください。特に毎朝復興の生活を確立してください。朝の少なくとも10分から15分を御言葉の祈り読みに費やしてください。そうすれば御言葉の中の水の洗いは、あなたのみ(天然の命の欠点)や、しわ(古さ)を新陳代謝的に洗い去ります。朝毎の復興は兄弟姉妹と共に行う必要があります。そうでないと、そのうち実行しなくなるからです。兄弟姉妹と共に、主の御名を呼び、御言葉を祈り読みし、互いに祈り合い、支え合う毎朝復興の生活は、あなたの毎日の学生生活を引き上げ、支えます。学校のテスト期間中も、毎朝復興を継続してください。主があなたを守ってくださいますように。アーメン!

598 召会 — その定義

1. 召会, 主のからだ, かみの住まい,
召された聖徒の 結集, 神人, 調和;
かみにえらばれ, あがなわれた;
その性しつ, 地位, 天にぞくする。
2. 召会, 復かつ通し 新人に生まれ,
れいことばで あられ, せい。
主, 召会のいのち, 召会のかしら,
性しつはおなじ, 万有超えつす。
3. 主イエス・キリスト, 召会の土だい;
召会のすべては 主と同様, 神聖。
十字架の死, 通り, 復かつにあり,
金, 銀, 宝せきとし 建ぞうされる。
4. かみ, 主, 霊ひとつ, 要素はひとつ,
信仰, 希望, バプテスマ, からだひとつ。
三いちのかみは 召会のちゆう心,
信仰でむすばれ, 再臨をのぞむ。
5. 諸こく民より出, 肢体とされる,
身分の高低なく, ひとつとなる;
ユダヤ人, 異邦人, 自由, 奴隷なく,
あるはひとりの あたらしいひと。
6. 宇宙のからだは かく地にあり,
地方のたち場で あられ出る。
行政は地方てき, 主はその元首,
まじわりは宇宙, へだてはなし。
7. 諸召会の完成は 新エルサレム;
キリストの豊満, みやこの光景;
主は燃える燈火, 召会はしよく台,
栄光のみかたち 完成, 到たつす。

598 召会—定義

1. 召会主的身体, 也是神的居所;
是众圣徒的结集, 也是神人调和;
创世以前神所选, 十架主死所赎;
性质、地位全属天, 地上任何不属。
2. 她是新造的新人, 基督复活所生;
圣灵里面受了浸, 藉道之洗成圣。
基督是她的生命, 又是她的元首;
她与基督同性情, 高升远超万有。

3. 她的根基已立定, 乃是耶稣基督;
能与基督同神圣, 才是她的事物。
凡属她者都需要 经过十架妙死,
在复活里被建造, 全是金、银、宝石。
4. 她的元素全是一: 一神、一主、一灵、
一身、一信并一洗, 一望, 神所命定。
三一之神在里面, 众人成为一身,
藉信联结, 因洗断, 凭望等候主临。
5. 她的所有众肢体, 出自各方、各民,
全都结合成为一, 不分任何身分;
没有犹太或外邦, 没有自主、为奴,
没有卑下或高尚, 只有新人“基督。”
6. 宇宙之中独一个, 分在各地出现;
一地一会为原则, 地方立场为限。
地方行政虽独立, 各向元首负责,
宇宙交通却一体, 无何离异间隔。
7. 她在各地的出现, 都是撒冷雏形;
为作基督的丰满, 先有圣城情景:
基督是灯, 神是光, 她是灯台照明,
显出荣耀的形像, 直到撒冷完成。

824. The Church – Her General Definition

1. The Church is Christ's own Body,
The Father's dwelling-place,
The gathering of the called ones,
God blended with man's race;
Elect before creation,
Redeemed by Calv'ry's death,
Her character and standing
Of heaven, not of earth.
2. New man of new creation,
Born through her risen Lord,
Baptized in God the Spirit,
Made holy by His Word;
Christ is her life and content,
Himself her glorious Head;
She has ascended with Him
O'er all her foes to tread.

3. Christ is her one foundation,
None other man may lay;
All that she has, as Christ, is
Divine in every way;
Her members through the Spirit
Their death on Calv'ry own;
They're built in resurrection—
Gold, silver, precious stone.
4. One God, one Lord, one Spirit—
Her elements all one—
One faith, one hope, one baptism,
One Body in the Son;
The triune God is in her,
One Body members own,
By faith they are united,
In hope of glory shown.
5. From every tribe and nation
Do all the members come,
Regardless of their classes
United to be one.
No high there is, nor lowly,
No Jew, nor Gentile clan,
No free, nor slave, nor master,
But Christ, the "one new man."
6. One Body universal,
One in each place expressed;
Locality of dwelling
Her only ground possessed;
Administration local,
Each answer'ing to the Lord;
Communion universal,
Upheld in one accord.
7. Her local gatherings model
The New Jerusalem;
Its aspects and its details
Must show in all of them.
Christ is the Lamp that shineth,
With God within, the Light;
They are the lampstands bearing
His glorious Image bright.